

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	石原土地区画整理事業特別会計繰出金 (510303)			担当課	財政課	
	開始年度	平成3(1991)	終了予定年度	平成32(2020)	作成責任者	山田 信義	
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 土地区画整理費	決算付属資料	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等		
	施策名	良好な都市空間を形成する			根拠法令等	地方自治法	
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()					
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	石原土地区画整理事業特別会計の安定的な運営を図ります。					
	対象者	石原土地区画整理事業特別会計	対象者数	-	一人当たりコスト	-	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等>					
	事業概要	石原土地区画整理事業特別会計運営に必要な一般経費等に対して繰出金を支出します。					
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費
		繰出金		石原土地区画事業特別会計への繰出金 (一般保留地の価格改定に伴う繰出し)			73,793
関連事業							
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求
	事業費	当初予算・・・①					0
		補正予算等・・・②			73,793		
		繰越し等・・・③					
	財源内訳	一般財源		0	73,793	0	0
		国支出金					
		府支出金					
		地方債					
		その他特財					
		特定財源名称 (H29実績)					頁 頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.00/0	0.01/0	0.00/0	/
概算人件費・・・④		0	80	0			
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	73,873	0		
執行状況	執行額・・・⑥		0	73,793			
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	100.0%			
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
				/	/	/	/
				/	/	/	/
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標
		繰出金決算額	百万円	/	74.0/74.0	/	/
		単位あたりコスト		/	-		
			/	/	/		
	単位あたりコスト						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・繰出により、特別会計の安定的な運営を図る必要があります。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・繰出金により、特別会計の安定的な運営が図られています。(定性的評価)	
	今後の課題及び方向性	・特別会計の安定的な運営のため、継続します。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	内 容 事業の見直しなし(当初予算としては、平成30年度同様、計上しない)	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	景観形成推進事業 (510304)			担当課	都市計画課		
	開始年度	平成26(2014)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	丸山 政幸		
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 都市計画総務費	決算附属資料	200	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	福知山市景観計画		
	施策名	良好な都市空間を形成する			根拠法令等	景観法、福知山市景観条例		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	景観形成を推進することにより、都市基盤をレベルアップさせ、『住みたいまちづくり』を実現する。						
	対象者	市民	対象者数	78,943	一人当たりコスト	0.10		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 〈委託先・実施主体等〉 京都ユニオンサービス株式会社						
	事業概要	・景観審議会及び部会の開催 ・景観条例に基づく届出勧告事務 ・屋外広告物許可申請事務						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		報酬		景観審議会委員報酬			152	
旅費		景観審議会に係る費用弁償			14			
委託料		景観審議会に係る福祉バス代			4			
関連事業	なし							
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		1,211	186	0	0	
		補正予算等・・・②		△ 425	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		786	186	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
			特定財源名称 (H29実績)					頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0.88/0.00	1.01/0.00	/	/	
概算人件費・・・④		7,832	8,080	0				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			8,618	8,266	0			
執行状況	執行額・・・⑥		187	170				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		23.8%	91.4%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		景観重要建造物指定件数	件	0/5	0/5	/	/25	
		景観計画の見直し	式	/	/	/	/1	
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		審議会・部会開催回数	回	2/6	2/2	/	/1	
		単位あたりコスト		93.5	85.0			
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	△	条例制定・運用などは行政にしかできない部分がある一方、景観まちづくりは民間と協働して行う必要がある。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	△	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	△	費用は最小限度となっている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	△	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	△	各地方自治体が景観法等を活用しながら様々な施策を展開しているため、情報収集を行いつつ適宜、適切な指標設定が必要である。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	△	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	平成28年度に事業棚卸しを受け、基本的な制度設計の見直しから行うこととなった。景観審議会を開催し、景観計画策定から約5年が経過した今、景観計画の見直しから実施していく。	
	今後の課題及び方向性	景観計画の見直し等から始めていくが、経費については経常的経費のみとなることから、平成30年度より都市計画費一般管理事業(都市計画)へと統合する。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度より都市計画費一般管理事業(都市計画)へ統合した。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30) <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	都市計画費一般管理事業(都市整備課)			(510312)	担当課	都市計画課		
	開始年度	平成27(2015)		終了予定年度	平成32(2020)		作成責任者	丸山 政幸	
	歳出費目	款) 土木費	項) 都市計画費	目) 都市計画総務費	決算附属資料	200		頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-			
	施策名	良好な都市空間を形成する			根拠法令等	-			
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()							
基礎情報	事業目的(あるべき姿)	土地区画整理事業により設置された施設等の適正な維持管理を行い、利用者の利便性の向上を図る。また、個人・組合施行の土地区画整理事業の促進に寄与する。							
	対象者	土地区画整理事業地内の人口	対象者数	26,803		一人当たりコスト	0.53		
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 石原自治会							
	事業概要	石原駅自転車等駐車場の維持管理 過去の土地区画整理事業に係る訴訟、諸問題の解決 個人・組合施行の土地区画整理事業に係る事業認可等事務							
	主な経費と具体的内容(H29実績)	項目		具体的な内容				H29経費	
		旅費		弁護士相談・関係機関協議、裁判傍聴旅費				324	
需用費		消耗品費、燃料費、施設修繕料				204			
役務費		郵送料、廃棄物搬入手数料、看板撤去手数料				60			
委託料		清掃管理業務委託				24			
負担金		街づくり区画整理協会 会費				113			
関連事業									
予算と執行の状況	区分			H28	H29	H30	H31要求		
	事業費	当初予算・・・①		413	753	696	0		
		補正予算等・・・②		87	2	0	0		
		繰越し等・・・③		0	0	0	0		
	財源内訳	一般財源		500	755	622	0		
		国支出金		0	0	0	0		
		府支出金		0	0	0	0		
		地方債		0	0	0	0		
		その他特財		0	0	74	0		
		特定財源名称(H29実績)						頁	
職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		2.07/0.1	1.68/0	1.68/0	/			
	概算人件費・・・④		16,810	13,440	13,440				
総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			17,310	14,195	14,136				
執行状況	執行額・・・⑥			499	725				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)			99.8%	96.0%				
業績指標	成果実績(アウトカム)実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		放置自転車撤去台数	台	68	50	/	0		
	活動実績(アウトプット)実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標		
		石原駅自転車等駐車場清掃回数	回	24/24	24/24	/24	24		
		単位あたりコスト		20.8	30.2				
		河守保留地除草回数	回	2/2	2/2	/2	2		
単位あたりコスト		249.5	362.5						

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	・土地区画整理事業地内の施設及び保留地の維持管理、修繕を行い、施設の利用者及び周辺住民の利便性に寄与している。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	・石原駅自転車等駐車場は、地元自治会に維持管理をしていただくことで、利用者の利便性向上及び環境美化が図れている。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	・土地区画整理事業に対する訴訟・諸問題に対し、弁護士相談、関係機関との協議を行い、土地区画整理事業の問題解決に寄与している。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	・保留地の除草や石原駅自転車等駐車場の維持管理を地元自治会への委託維持管理によって、土地区画整理事業地内の適正な維持管理を行うことができた。 また、土地区画整理事業の訴訟等の諸問題についての解決に寄与する。	
	今後の課題及び方向性	・石原自転車等駐車場の利用者が増えているため、駐車場の増設及びラックの設置を検討していく必要がある。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input checked="" type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	平成30年度より、「都市計画費一般管理事業（区画整理）」に名称変更した。平成31年度より都市計画費一般管理事業（都市計画）へ統合予定である。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		

平成30年度 事務事業評価シート

(単位:千円)

事業属性	事業名(コード)	治水対策プロモーション事業			550310	担当課	用地課	
	開始年度	平成29(2017)	終了予定年度	平成29(2017)	作成責任者	西畑 信寿		
	歳出費目	款) 土木費	項) 土木管理費	目) 土木総務費	決算附属資料	192	頁	
	施策の大綱	土地利用および市街地・集落整備			関連計画等	-		
	施策名	良好な都市空間を形成する			根拠法令等	-		
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 国府補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 市単独事業 <input type="checkbox"/> その他 ()						
基礎情報	事業目的 (あるべき姿)	平成25年、26年と2年連続で甚大な被害に見舞われ、国土交通省による由良川改修事業や、全国初の取り組みとなる国・府・市の3者による「由良川流域(福知山市域)における総合的な治水対策」の推進によって、水害に対する安全度が向上し、「水害のまち」から水害に強い安全・安心の町に復興・再生しつつある姿を治水対策シンポジウム・現地見学会を通して、市内外に向けて発信する。 その結果、観光振興や定住促進が進み、市民の利便性や満足度の向上に寄与する。						
	対象者	全市民	対象者数	78,000	一人当たりコスト	0.04		
	実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他 <委託先・実施主体等> 株式会社 井之上パブリックリレーションズ						
	事業概要	○現地見学会やシンポジウムにニュースソースが高まるような高名な講師を招聘する。 ○市内外への効果的なPRが期待できるメディアを招致する。 ○現地見学会やシンポジウムがメディアに取り扱われやすくするためのアドバイスを受ける。						
	主な経費と 具体的内容 (H29実績)	項目		具体的な内容			H29経費	
		委託料		講師招聘・メディア招致・アドバイス等			497	
関連事業								
予算と執行の 状況	区分			H28	H29	H30	H31要求	
	事業費	当初予算・・・①		0	1,000	0	0	
		補正予算等・・・②		0	0	0	0	
		繰越し等・・・③		0	0	0	0	
		財源内訳	一般財源		0	1,000	0	0
			国支出金		0	0	0	0
			府支出金		0	0	0	0
			地方債		0	0	0	0
			その他特財		0	0	0	0
			特定財源名称 (H29実績)					頁
	職員人件費	従事職員数(正職/嘱託)		0/0	0.3/0	0.0/0	/	
		概算人件費・・・④		0	2,400	0		
	総事業費(①+②+③+④)・・・⑤			0	3,400	0		
執行状況	執行額・・・⑥		0	497				
	執行率(⑥/(①+②+③)×100)		-	49.7%				
業績指標	成果実績 (アウトカム) 実績/当初目標	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		シンポジウムへの来場者数	人	-	0/200	/		
					0/0	/		
	活動実績 (アウトプット) 実績/当初見込	指標	単位	H28	H29	H30	最終目標	
		現地見学会、シンポジウムの回数	回	-	0/1	/	全事業	
		単位あたりコスト		-	0.0			
				/				
	単位あたりコスト							

		項目	評価	評価に対する説明
一次評価 ▽担当課による自己評価△	必要性	市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か	○	5年間で3度の甚大な浸水被害があり、「災害のまち」という負のイメージからの脱却をどのようにPRできるかは多くに市民から注目されている。
		民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か	○	
		目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	○	
	効率性	受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か	○	効果的なPR方法等の業務については業務委託をするも、イベントや企画については職員で検討するなどコスト削減に努めた。
		他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか	○	
		コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	○	
	有効性	成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか	○	台風21号災害による浸水被害を受けて中止を決断することとなったが、メディアに特化したイベントの企画等、今後の参考になった。
		活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか	○	
		先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	○	
		目的及び指標等の達成状況に対する評価	治水効果の向上による安全・安心なまちを市内外にPRすることが目的であったため、台風21号災害により浸水被害が発生する中でPRが逆効果になることを懸念し中止とした。	
	今後の課題及び方向性	福知山市として、PR活動を行うため、各課と調整を行いながら実施の検討を行う。		
庁内及び外部による評価	二次評価 (庁内) 【行革担当課記入】	所 見 ・中止の判断はやむなし ・委託費の精算も適切な調整の結果と判断する		
	三次評価 (外部) 【行革担当課記入】	所 見		
来年度方針	担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	内 容	
		<input checked="" type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 他事業と統合し組替 <input type="checkbox"/> 予算縮減を伴う見直し <input type="checkbox"/> 予算増減のない見直し <input type="checkbox"/> 予算拡充を伴う見直し <input type="checkbox"/> 事業の見直しなし	本事業は休止とし、PR活動を行うため、明智光秀ゆかりのまち福知山推進本部の取組の中で、治水関係の資料入手などにより情報発信していく。	
	予算への反映 【財政担当課記入】	予算額の反映状況(対H30)	担当課の見直し・要求方針に対する所見【行革担当課記入】	
		<input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 組替 <input type="checkbox"/> 縮減 <input type="checkbox"/> 廃止/休止 <input type="checkbox"/> 拡充		